

千葉大学医学部附属病院で薬物治療を実施された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年4月24日

薬剤部

薬剤部では、血清カルシウム値のモニタリングが必要な薬剤の使用状況に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2020年4月1日～2024年3月31日に添付文書に血清カルシウム値の測定を推奨する記載のある薬剤（アレンドロン酸ナトリウム水和物、エルデカルシトールなど）を処方された方。

（※2021年4月1日～2023年12月31日の期間は対象外とする）

1. 研究課題名

「血清カルシウム値のモニタリングが必要な薬剤の使用状況調査」

2. 研究期間

2024年承認日～2025年12月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院（観察研究）倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

本研究では、カルシウム値に影響を及ぼす薬剤を使用した患者さんにおいて、どの程度カルシウム値が測定されていたか、異常なカルシウム値があったか、保険薬局でカルシウム値に関する疑義照会が行われたかを調査します。その結果から、現状のカルシウムのモニタリングの状況を評価し、カルシウム測定の啓発や薬局でのカルシウムのモニタリングを推進することで、薬物治療の安全性の向上を目指します。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている以下の臨床情報

年齢、性別、カルシウム値、アルブミン値、処方薬、診療科、疑義照会内容、生化学検査、血液学的検査等の臨床検査結果

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：薬剤部 教授・薬剤部長 石井伊都子

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院薬剤部において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

薬剤部 薬剤師 加藤 開一郎

043（222）7171 内線 6505